

○第77回全日本馬場 Part II

5月29日～6月1日、JRA馬事公苑にて第77回全日本馬場馬術大会 Part II が開催されました。8頭の遠野馬（県外生産馬を含む）が出場、全頭が決勝進出し、第5課目及び第3課目競技では遠野産馬が優勝しました。



第5課目優勝 ココライアン&齋藤裕己選手（ウィル スタッド）

遠野馬通信

馬産地遠野とホースマンを結ぶ
情報誌

No.104

2025年7月1日

○遠野産馬大活躍



内国産選手権第7位 リバティ&市川順子選手
(愛馬友の会)



内国産選手権第4位 ガーリック&齋藤裕己選手
(ウィル スタッド)



第3課目優勝 ボンベロ&小淵英次選手
(ドレッサージュ・ステーブル・テルイ)



第3課目第4位 ラバロン&照井駿介選手
(ドレッサージュ・ステーブル・テルイ)



第3課目第5位 馬夢世&岡本雅海選手
(岡本ライディングクラブ JAPAN)



第5課目第7位 麗&牧野真弥選手
(富山県馬術連盟)



第4課目第11位 ティラガ&畑科乃選手
(トホ-クラブ ハケ岳)

○ラバノ産駒 3 競技を制覇

今大会では、遠野で繋養された種牡馬ラバノ（オルデンブルガー）の産駒が、第3課目（ボンベロ＝上述）、第4課目（メニーナ&中村公子選手 シュタール・ジーク）、第5課目（ココライアン＝上述）の3競技で優勝しました。